

【桜山地区で優先的に取り組むべき「対策の方向性」の順位と投票数】

投票数	対策の方向性
12	地域のつながり強化
10	ボランティアを応援する
6	夜間診療可の内科クリニックがある
5	車がなくても生活に便利
5	治安が良い
5	地域で声を掛け合える
3	コミュニティの確立と維持
2	高齢者が安心して暮らせる
2	若い世代が帰って来る
2	子どもたちがボランティアに参加する
1	後継者（特に梨）がいる



桜山地区 第三回ワークショップレポート

第三回のワークショップでは、第二回のワークショップで話し合った地区の目指す姿を実現するための取組みについて、市長を交えて、検討を深めました。

前半では、地域の課題や魅力などについて市長に発表した後、市長から、課題解決に向けた最近の市の取組みなどについて説明し、お互いの理解を深めました。

後半では、これまでまとめてきた「対策の方向性」について、先に実施すべきと思うものを参加者で投票（1人3票）し、優先的に取り組むべきことを明らかにしました。

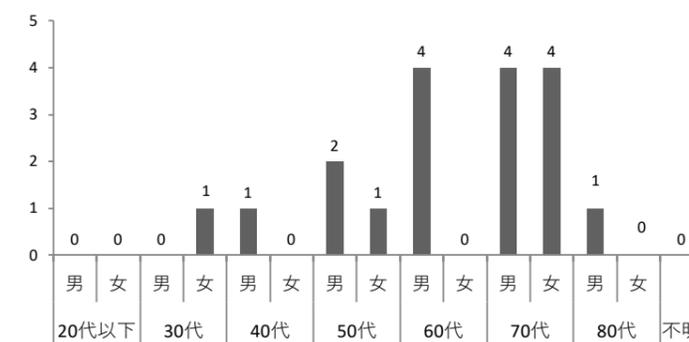


日時：10月27日（日）19時～

場所：桜山中央集会所

参加者数：18名

【桜山地区の参加状況】



■桜山地区で取組みたい
「対策の方向性」について、
追加する具体的な取り組みの例

(地区全体の方針) 「住む」のに魅力あるまち

「便利な」まち

車がなくても生活に便利

米など重たいものの、ついで買物

★見守り協定

★生協の利用

★欲しいもののリストをあげて
集会所で買えるように

★買い物ツアーに取り組む

★ボランティアポイントを作る

商店があり買物に便利

商店を活性化させる(官民連携)

夜間診療可の
内科クリニックがある

★かかりつけ医をつくっておく

★市民病院に近くの人が連れていく

「安心な」まち

高齢者が安心して暮らせる

老人が歩いていたら、
車を止めて乗ってもらう

「高齢者向け食堂」の定期開店

治安が良い

★空家の見守り

★有明地区の「まかせん会」のような組織

★独り住まいの人に声かけする見守り担当

★見守りネットワーク

★挨拶声掛けをみんなができる環境づくり

★地域の危険箇所をみんなで共有して対策

★通学路の安全確保のための草刈り

コミュニティの確立と維持

人間関係(コミュニティ)をつくる

生活の悩みを一緒に解決する

「つながり」強化の行事を開催

★気軽に集まれる場所を作る

★安全マップの作製

★地域の行事に1回でも参加してもらう

★町内会に入っているメリットを感じてもらう

★あいさつ、声かけをみんなができる地区に

「活気ある」まち

みんなが集まる

行事への参加を呼び掛ける

地域会議を開催して対話する

若い世代が帰って来る

働く場所をつくる(官民連携)

★空家を若い世代に安く貸す

後継者(特に梨)がいる

★地域おこし協力隊の活用

「見守る」まち

地域で声を掛け合える

「笑顔で」あいさつする

「見知らぬ人」にもあいさつする

子どもたちがボランティアに
参加する

自分の幸せより人の幸せを
先に考える人を増やす

地域のつながり強化

高齢者の見守り

登下校時の見守り

ボランティアを応援する

★は追加された意見